

スピードクライミングタレント選出トライアウト(6期生)実施要項

目指せ!金メダル スピードクライミング日本代表候補募集!!

オリンピックや世界選手権などを含む大会に出場する、スピードクライミング*の「将来の日本代表候補」を千葉県で募集します。特に、スピードクライミング未経験者のチャレンジを積極的に受け入れています。

*スピードクライミング:高さ 15メートルの壁で、コースをどれだけ早く登るかを競う種目

1 目的

地域の有能なタレント又はアスリートから中央競技団体が育成するナショナルタレントへのパフォーマンス移行を支援するプログラムの整備を行い、強固で持続可能なアスリートパスウェイの構築に貢献する。

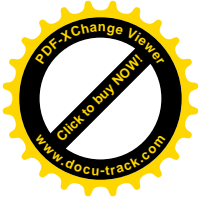
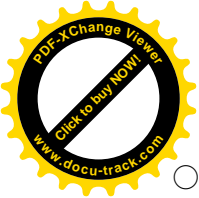
2 基本計画

- 主催 一般社団法人 千葉県山岳・スポーツクライミング協会
- 連携団体 千葉県競技力向上推進本部
- 協力(予定) 公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会、千葉県立幕張総合高等学校
- 期日・場所 令和8年7月5日(日)(雨天決行)
千葉県立幕張総合高等学校内クライミングウォール 千葉市美浜区若葉 3-1-6
- 時程

9:00~9:15 受付(県立幕張総合高等学校)	13:00~15:00 面談(本人と保護者)
9:30~9:45 開会行事・事前説明	面談終了後、各自解散
10:00~12:00 トライアウト開始 体力テスト・クライミング体験	

※上記期日にどうしても都合がつかない場合は下記予備日に対応が可能です。申込みの際にその旨を備考欄に記載ください。

- 予備日 令和8年7月12日(日)(雨天決行)
- 対象年齢 原則として小学6年生、中学1,2年生
※スピード種目完登経験が有り一定基準を満たす中学3年生は参加を認める場合有り
- 参加資格 千葉県在住・在学である事 (スピード種目経験の有無は問わない)
- 募集定員 先着最大 30名程度
- 選出人数 若干名をスピードアスリート候補生に認定
- スピードアスリート候補生の活動
 - ・8月より週1回程度地域コーチによる指導と年1回程度トップコーチによる指導を実施
 - ・日本代表選考大会により選考基準を突破した選手は本事業での活動と合わせて日本代表チームによる強化を実施
- トライアウト内容
体力テスト(20m走、懸垂、腹筋、腕立て、垂直跳び、クイックステップ、上体そらし、握力など)、クライミング試技、面談



- トライアウトに挑戦できる条件
 - ① スピードクライミング日本代表候補選出に対して強い意志のある男子・女子
 - ② 高所が極端に苦手でない
 - ③ 毎週の練習に参加できる選手(部活や他競技との両立可能)
- 参加費 無料
- 持ち物 運動のできる服装、トレーニングシューズ(屋外)、タオル、着替え、飲料・昼食、筆記用具、持っている人はクライミングシューズ・ハーネス・チョークバッグ(ない人は無料で貸し出します)、トライアウト参加同意書(申込者に後日送付)
- 申し込み 以下の URL または QR コードから **6月12日(金)まで**にフォームで回答してください。
<https://forms.gle/kRGLRCVxFkHinqFS8>



↑ 回答 QR コード

<今後のスケジュール>

6/12(金) 申込締切

7/5(日) 9時-15時 トライアウト

7/12(日) 9時-15時 トライアウト予備日

7月中旬に発表予定の合格者は8月以降、幕張総合高校内のクライミングウォールでの週1回の練習会に参加

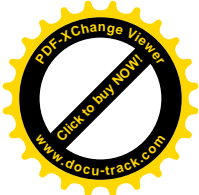
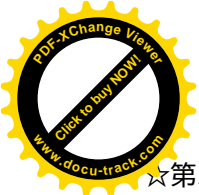
<これまでの経緯、実績と今後の展望>

☆第1回トライアウト 2021年11月実施、合格者(1期生)は12月から練習開始

- ・女子(現高2) 2023年スピードユース日本選手権3位 世界ユース選手権12位
2025年スピードユース日本選手権1位 世界ユース選手権23位 アジアユース選手権11位
U-17女子日本記録更新
2026年スピードユース日本選手権3位 スピードジャパンカップ5位
- ・女子(現高1)2024年世界ユース選手権6位 アジアユース選手権2位
2025年スピードユース日本選手権5位 世界ユース選手権11位 アジアユース選手権2位
U-17女子日本記録更新
2026年スピードユース日本選手権2位 U-17女子日本記録更新
JOC オリンピックネクスト強化指定選手
- ・男子(現大1)2023年スピードユース日本選手権4位 アジアユース選手権10位
2024年スピードユース日本選手権7位 2025年スピードユース日本選手権8位
2026年スピードユース日本選手権8位

☆第2回トライアウト 2022年4月実施、合格者(2期生)は5月から練習開始

- ・男子(現大1)2023年 ユース日本選手権4位 アジアユース選手権8位、
2024年 ユース日本選手権2位 世界ユース選手権8位、アジアユース選手権4位
2025年 ユース日本選手権2位 スピードジャパンカップ5位 世界ユース選手権15位
アジアユース選手権2位
- ・女子(現高1)2024年 ユース日本選手権3位 2025年 ユース日本選手権2位 世界ユース選手権26位
2026年 ユース日本選手権3位



☆第3回トライアウト2023年6月実施、合格者(3期生)は7月から練習開始

- ・男子(現高2) 2024年 世界ユース選手権6位、アジアユース選手権2位、
2025年 ユース日本選手権1位、世界ユース選手権3位、アジアユース選手権3位
U-17 男子日本記録更新
2026年 ユース日本選手権1位 スピードジャパンカップ4位
アジア選手権18位 ワールドカップおよび世界ユース選手権出場内定
JOC オリンピック強化指定選手
- ・男子(現高1) 2025年 アジアユース選手権14位
- ・男子(現高1) 2025年 アジアキッズ選手権22位
2026年 ユース日本選手権1位 世界ユース選手権出場内定
- ・男子(現高1) 2026年 ユース日本選手権2位
- ・女子(現中3) 2026年 ユース日本選手権1位 世界ユース選手権出場内定
- ・女子(現中2) 2025年 アジアキッズ選手権23位

この事業のトライアウトに合格してスピードアスリート候補生として練習を重ね、世界ユース選手権等の国際大会代表として多くの選手が活躍し、目標に向かって一步一步着実に前身しており、今年は初めて3期生男子(高2)がJOC オリンピック強化指定選手、1期生女子(高1)がJOC オリンピックネクスト強化指定選手、に選ばれました。

2023, 2024年スピードジャパンカップ男子2連覇の安川潤選手(早稲田大学)、2025年スピードジャパンカップ男子優勝の藤野柊斗選手(東洋大学)、2024年スピードジャパンカップ女子優勝の竹内亜衣選手(筑波大学)など幕張総合高校クライミングウォールでスピードクライミングを始めて国際大会日本代表として活躍している先輩選手たちも一緒に練習しており、互いに切磋琢磨しながら、2年後のロサンゼルス、6年後のブリスベンオリンピックの出場を目指しましょう!